

農林水産業基本計画改訂の経緯

(1) 計画策定の流れ

平成22年	
6月2日	「第1回農林水産業基本計画改訂委員会」開催
6月3日	「第1回農林水産業基本計画改訂委員会ワーキンググループ」開催
7月30日	「第2回農林水産業基本計画改訂委員会ワーキンググループ」開催
8月11日	「第3回農林水産業基本計画改訂委員会ワーキンググループ」開催【水産業】
8月12日	「第3回農林水産業基本計画改訂委員会ワーキンググループ」開催【農林業】
10月22日	「第4回農林水産業基本計画改訂委員会ワーキンググループ」開催
10月28日	「第2回農林水産業基本計画改訂委員会」開催

(2) 佐世保市農林水産業基本計画改訂委員会 委員名簿

名称	委員役職	委員氏名 (11名)	備考	役職
佐世保市 農林水産業 基本計画 改訂委員会	長崎県立大学経済学部経済学科教授	木村 務	学識経験者	会長
	長崎大学水産学部教授	片岡 千賀之	学識経験者	副会長
	長崎県県北振興局農林部副部長	寺井 利久	長崎県	
	長崎県県北振興局商工水産部水産課長	岡座 輝雄	長崎県	
	ながさき西海農協協同組合代表理事組合長	豊村 茂樹	生産者団体	
	社団法人 長崎県林業公社県北事務所長	林 典純	生産者団体	
	ながさき県酪農業協同組合佐世保支所長	吉居 正二	生産者団体	
	佐世保市水産振興協議会会長	溝口 芙美雄	生産者団体	
	佐世保市栽培漁業推進協議会会長	平野 重美	生産者団体	
	佐世保市農業委員会会長	山中 健一	農業委員会	
佐世保市農水商工部長	田崎 勉	佐世保市		

(敬称略、順不同)

(3) 佐世保市農林水産業基本計画改訂委員会 ワーキンググループ委員名簿

名 称	メ ン バ ー 役 職	委員氏名 (16名)	備 考	役職
佐世保市 農林水産業 基本計画 改訂委員会 ワーキンググループ	長崎県北振興局農林部技術普及課長	松田 洋子	長崎県	班長
	長崎県北振興局県北水産業 普及指導センター所長	平山 浩明	長崎県	副班長
	佐世保市認定農業者協議会理事	前田 辰彦	生産者団体	
	ながさき西海農業協同組合 させば南部営農経済センター営農指導課長	下村 義広	生産者団体	
	ながさき西海農業協同組合 させば北部営農経済センター営農指導課長	吉田 正幸	生産者団体	
	ながさき西海農業協同組合 北松営農経済センター営農指導課長	末永 知一	生産者団体	
	ながさき西海農業協同組合畜産部畜産課長	里村 敏	生産者団体	
	佐世保市相浦漁業協同組合専務理事	田渕 次郎	生産者団体	
	佐世保市漁業協同組合	下平 克己	生産者団体	
	佐世保市漁業協同組合	白川 亘宏 (下平氏後任)	生産者団体	
	針尾漁業協同組合信用担当理事兼事務長	濱崎 寿人	生産者団体	
	佐世保市南部漁業協同組合理事兼参事	岡村 隆英	生産者団体	
	宇久小値賀漁業協同組合課長	里村 昭弘	生産者団体	
	九十九島漁業協同組合	田島 利明	生産者団体	
	指導漁業士	中村 幸則	生産者	
	青年漁業士	永安 健次	生産者	

(敬称略、順不同)

用語説明（五十音順）

用語	用語の説明
赤潮	海水中のプランクトンが異常増殖する現象で、しばしば魚介類に大きな被害をもたらす。
荒茶	摘みたての葉を蒸気で加熱し、乾燥しただけでまだ精製していない茶。
磯焼け	藻場を形成する大型のホンダワラ類、コンブ類やその他多くの海藻が枯れ不毛の状態なり、サンゴ藻と呼ばれる硬い海藻で海底が覆われる状態。
一本釣漁業	網を使用せず、釣り針を使用し魚を釣り上げる漁獲方法。
永年性作物	果樹・茶等のように長期間植換えの必要のない作物。 ⇔ 短年性作物
エコツーリズム	自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し学ぶとともに、その地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方。
エコファーマー	「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、都道府県知事から、たい肥等による土づくりと化学肥料や化学合成農薬の使用の低減を一体的に行う農業生産方式を導入する計画について認定を受けた農業者の愛称。
沿岸漁業	陸地近くの水域で行われる漁業。小型漁船漁業・定置網漁業のほか一般的には養殖業も含めるが、本計画では養殖業は分けて取り扱っている。
沖合漁業	遠洋漁業と沿岸漁業の中間で、やや沿岸漁業に近い。一般に10トン以上の動力船で、200カイリ水域内で操業される漁業で、ほぼ数日の航海により、近海のカツオ、イワシ、サンマ、サバ、イカなどを対象とする。
貝毒	時として海中に有毒なプランクトンが多く発生し、これを食べた二枚貝がその毒成分を体内（中腸腺（肝臓、膵臓にあたる部分））に蓄積して有毒化すること。 貝毒には、手足のしびれや運動失調が症状の麻痺性貝毒と下痢・腹痛等が症状の下痢性貝毒の2種類が存在。
海洋性レクリエーション	海岸や海面および海中を利用したレクリエーションの総称。ダイビング、ヨットやシーカヤック、フィッシング等が含まれる。
家族経営協定	農業経営に参画する個人の地位及び役割を明確化し、その意欲と能力を十分に発揮できるようにするため、経営の方針や家族一人ひとりの役割、働きやすい環境づくりなどについて家族みんなの話し合いにより取り決めるもの。
家畜法定伝染病	家畜の伝染病のうち、特に総合的に発生の予防及びまん延の防止のための

用 語	用語の説明
	措置を講ずる必要がある、口蹄疫など26種類の家畜伝染病。
環境保全型農業	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業。
共進会・共励会	いわゆる家畜の品評会であり、家畜改良、増殖の推進を目的に行う。共励会は、枝肉における品評会とし、共進会と言葉をわけて用いる。
漁業関連施設	漁業生産活動に必要な、冷蔵庫や製氷施設および漁具倉庫等の総称
魚礁・築いそ	魚介類のための人工的につくられた生活環境の場。 魚礁は主に魚類を対象とし、築いそは根付資源を対象とし設置されたもの。
漁船リース制度	漁協が中古船を購入（購入には補助制度あり）し、新規漁業者にリースすることにより、漁業者の就業時の資金の軽減を図る制度。
グリーン・ツーリズムとブルー・ツーリズム	農山漁村地域において自然・文化・農林漁業とのふれ合い、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。 一般的にグリーン・ツーリズムは農山村地域、ブルー・ツーリズムは漁村地域で行われる活動。
経営耕地	農家が経営する耕地（田、畑、樹園地の計）。
係留施設	漁船等の船舶を安全に泊めておくための施設。
減農薬栽培	生産過程等における農薬の使用回数を、地域の慣行的に行われている使用回数の50%以上節減している栽培。
耕作放棄地	以前耕地であったもので、過去1年間以上作物を栽培せず、しかも、この数年の間に再び耕作するはっきりした意思のない土地。
口蹄疫	口蹄疫ウイルスによる、口、蹄に水疱等ができる極めて伝染性が強い偶蹄類（蹄が2つに分かれている）の家畜法定伝染病であり、我が国において発生した場合は殺処分による防疫を行う。
戸別所得補償制度	販売価格が生産費を恒常的に下回る農産物について、その差額を補てんすることで、農業経営の安定と国内生産力の確保を図ることで、食料自給率の向上と農業の多面的機能の維持を目指す国の制度。
栽培漁業	自然の海では、魚介類は卵から稚魚の時期に多くが死んでしまう。その時期を人間が水槽などで大事に育て、自然の海でしっかり生きていける大きさまで育て、稚魚を海に放し、大きくなった魚介類をとること。
刺網漁業	海の中にカーテンのように網を張り、近くにきた魚を網にひっかける漁業。魚種によって様々な種類がある。

用語	用語の説明
産学官連携	企業（産）が、要素技術や高度な専門知識を持つ大学等（学）や公設試験研究機関等（官）と連携して、新製品開発や新事業創出を図ること。
自給的農家	経営耕地面積が30a未満で、かつ農産物販売金額が50万円未満の農家。
資源管理型漁業	大切な水産資源を減らさないように無駄な漁獲をなくし、漁場の資源量を管理し、効率的な経営を行うこと。 たとえば30センチ未満のひらめは漁獲しない、小さなひらめが網に入ったときには無事に大きく育つことを願ってリリースする。 また出漁回数、時間、量などを漁業者が自ら厳しく設定している。
資源循環型農林業	家畜ふん尿などの有機物を堆肥化し、適切に農地等に還元し農作物等に適した土づくりを行うことで、化学肥料や農薬等への依存を減らし、環境保全と生産性の向上を実践する農林業。
下刈・枝打・間伐	下刈とは、植栽した造林木の育成を妨げる雑草や低木を刈り取ること。枝打とは、節のない良質な建築用材をつくるため、造林木の枝を幹から切り落とす作業のこと。また、間伐とは、造林木の育成を助けたり採光を良くするために、造林木の一部を適当な間隔で伐採すること。
集落営農組織	集落など地縁的にまとまりのある一定の地域内の農家が農業生産工程の全部又は一部を共同して行う営農活動、又はそのような営農活動を行う組織の総称。
種苗生産	人工的に稚魚を育てることを種苗生産、育てた稚魚を海に放すことを種苗放流という。
食育	食に関する情報を正しく理解し、家庭や学校など地域社会の中で、食の安全や望ましい食生活、食文化について考える習慣を身につけるための取り組み。
新改植	永年性作物（果樹・茶等）を新規に植栽、また、古くなった永年性作物を新しい苗に植え換えること。
水源涵養	雨や雪などの降水を土壤に浸透させ、河川へ水を供給する機能。
ストックマネジメント	既存の建築物（ストック）を有効に活用し、長寿命化を図る体系的な手法。
生産基盤（農業）	農林業生産活動を支える農林道、用水路、排水路、ため池、田畑等。
生産基盤（漁業）	漁業生産活動を支える漁港、漁場、漁業関連施設等。
第10回全国和牛能力共進会長崎県	5年に一度開催される全国的な和牛の品評会（共進会・共励会）であり、和牛のオリンピックとも称される大会である。

用語	用語の説明
大会	第10回大会は、平成24年10月に長崎県（ハウステンボス、島原復興アリーナ、佐世保市食肉地方卸売市場）を会場として開催される。
地産地消	地域で生産された農水産物を地域で消費しようとする活動を通じて、生産者と消費者を結びつける取組み。
中山間地域	農業の地域区分で、平場・中間・山村3地域のうち、後2者の総称。平野の外縁部から山間地までの地域。
中山間地域直接支払制度	中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正する農家等への交付金により、農業生産活動の維持、及び耕作放棄の発生を防止し多面的機能の確保を図る制度。
底質改良	養殖や陸上からの排水等により汚れた海底を、微生物や薬品等を使用し、生物が生息できる海底に改良すること。
田園空間	農業・農村の営みを通じて育まれてきた豊かな自然、伝統・文化等の多面的機能を有する、伝統的農業施設や美しい農村景観等をいう。
登録漁船	漁業を行うために漁船として登録され認められた船舶のこと。
特別栽培農産物	生産された地域の慣行レベル（各地域の慣行的に行われている化学合成農薬及び化学肥料の使用状況のこと）に比べて、化学合成農薬の使用回数が50%以下、かつ化学肥料の窒素成分量が50%以下で栽培された農産物。
トレーサビリティ・システム（流通経路情報把握システム）	食品の流通経路情報（食品の流通した経路及び所在等を記録した情報）を活用して食品の追跡と遡及を可能とする仕組み。これにより、事故発生時の原因究明や食品回収、品質管理の向上や効率化、消費者に伝える各種情報の充実等に資することが期待される。
肉用牛繁殖経営	肉用子牛の生産、販売を目的とした経営を行う畜産農家。
肉用牛肥育経営	肉用子牛を導入（購買）し、一定期間飼養した後、食肉用として出荷、販売する経営を行う畜産農家。
認定農業者	「農業経営基盤強化促進法」に基づいて、経営改善を図ろうとする農業者の「農業経営改善計画」を市町村が認定した農業者。
根付資源	大きくなるまで磯や干潟などで生活し、大きな移動を行わない魚介類（アワビ、カサゴ、ナマコなど）や海藻類（ヒジキ、ワカメなど）等の水産資源のこと。
農業経営改善計画	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者になるために市町村に提出する計画。
農業経営体	農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係

用 語	用語の説明																		
	<p>る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営耕地面積が 30a 以上の規模の農家。 ・ 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷数、その他事業の規模が次の基準以上である経営体をいう。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">①露地野菜作付面積</td> <td style="text-align: right;">15 a</td> </tr> <tr> <td>②施設野菜栽培面積</td> <td style="text-align: right;">350 m²</td> </tr> <tr> <td>③果樹、露地花き栽培面積</td> <td style="text-align: right;">10a</td> </tr> <tr> <td>④施設花き栽培面積</td> <td style="text-align: right;">250 m²</td> </tr> <tr> <td>⑤搾乳牛、肥育牛飼養頭数</td> <td style="text-align: right;">1 頭</td> </tr> <tr> <td>⑥豚飼養頭数</td> <td style="text-align: right;">15 頭</td> </tr> <tr> <td>⑦採卵鶏飼養羽数</td> <td style="text-align: right;">150 羽</td> </tr> <tr> <td>⑧ブロイラー年間出荷羽数</td> <td style="text-align: right;">1, 000 羽</td> </tr> <tr> <td>⑨その他</td> <td></td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">調査期日前 1 年間における農業生産物の総販売額が 50 万円以上に相当する事業の規模。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農作業受託の事業 	①露地野菜作付面積	15 a	②施設野菜栽培面積	350 m ²	③果樹、露地花き栽培面積	10a	④施設花き栽培面積	250 m ²	⑤搾乳牛、肥育牛飼養頭数	1 頭	⑥豚飼養頭数	15 頭	⑦採卵鶏飼養羽数	150 羽	⑧ブロイラー年間出荷羽数	1, 000 羽	⑨その他	
①露地野菜作付面積	15 a																		
②施設野菜栽培面積	350 m ²																		
③果樹、露地花き栽培面積	10a																		
④施設花き栽培面積	250 m ²																		
⑤搾乳牛、肥育牛飼養頭数	1 頭																		
⑥豚飼養頭数	15 頭																		
⑦採卵鶏飼養羽数	150 羽																		
⑧ブロイラー年間出荷羽数	1, 000 羽																		
⑨その他																			
農業産出額	農畜産物の品目別生産量（中間生産物を控除）に推計農家庭先価格を乗じて産出した金額。																		
農業ヘルパー制度	農繁期や畜産農家の休日の確保など、農作業の代行を行う人材を派遣する制度。																		
農商工等連携	農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を超えて協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うこと。																		
農地・水・環境保全事業	地域において、農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため農業者と地域住民が連携して行う農道や水路等の維持保全活動（共同活動）と農業者ぐるみでの環境保全に向けた先進的な営農活動を支援する事業のこと。																		
農地流動化	規模を縮小する農家や離農する農家から経営規模を拡大する農家に対して、農地の所有権や利用権を移動すること。																		
バイオマス資源	ある一定量集積した動植物資源とそれらを起源とする廃棄物の総称（化石燃料を除く）。																		
延縄漁業	長いロープにたくさんの釣り糸、釣り針をつけて海中に入れておき、魚が釣れるのを待ってとる漁法。																		

用語	用語の説明
販売農家	経営耕地面積が 30 a 以上、又は、農産物販売金額が 50 万円以上の農家。
肥育素牛	肉用牛肥育経営農家が購買する、肉用肥育牛のもととなる子牛。
ビジョン	将来の構想・展望。
100 年の森づくり	「100 年の森構想」の活動を行う「100 年の森構想実行委員会（非営利組織）」を支援する事業。 「100 年の森構想実行委員会」とは、民間のボランティアによって平成 12 年度に発足した団体で、市民総参加により、どんぐり拾いから苗を育て、育った苗を「100 年の森記念植樹」として植樹を企画及び実施する団体。
プランクトン	遊泳能力がほとんどなく、水中または水面を浮遊している生物の総称。 プランクトンは、「動物プランクトン」と「植物プランクトン」に分類でき、動物プランクトンには原生動物・クラゲ類・貝類・甲殻類の幼生、植物プランクトンには珪藻(けいそう)類・藍藻(らんそう)類が含まれる。
ブランド	自社製品を他社製品と区別させることを意図して設計された名称、言葉、シンボル、デザイン、もしくはそれらの組み合わせ。
まき網漁業	魚が光に集まる習性を利用して魚群を集め、その魚群を網で囲んで漁獲する漁法。アジ・イワシ・サバなどいわゆる青魚を対象としており、あぐり網や巾着網などとも呼ばれている。使用する漁船の規模により大中型まき網、中・小型まき網に分けられる。
藻場	海底で大型水生植物が群落状に生育する場所。 藻場の代表的なものとしては、ホンダワラ類を主体としたガラモ場、アラメ、カジメ類を主体としたアラメ場、カジメ場、海草類のアマモを主体としたアマモ場。
有害鳥獣	農産物や水産物若しくは生活環境などに被害を与える鳥獣のこと。 佐世保市では、平成 22 年現在、イノシシ、アライグマ、タヌキ、アナグマ、カラス、シカ が対象。
有機栽培	化学合成農薬や化学肥料を使用しないで、堆肥などの有機肥料を使って農作物を栽培する方法。
遊休農地	耕作の目的に供されておらず、かつ、引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地。
遊漁	レジャーを目的として釣り等の方法により、魚介類の採捕をすること。
優良農地	一団のまとまりのある農地や、農業水利施設の整備等を行ったことによ

用 語	用語の説明
	て生産性が向上した農地など良好な営農条件を備えた農地。
6次産業化	農林水産物等の生産（1次産業）及びその加工（2次産業）又は販売（3次産業）を一体的に行う事業活動であって、農林水産物等の価値を高め、又はその新たな価値を生み出すことを目指したもの。